

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部	子ども家庭部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所	17か所	17か所	17か所	17か所	18か所	—	—
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人	293人	228人	276人	296人	281人	—	—
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%	29.5%	25.7%	28%	27.9%	27.6%	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	28,721	2	0	2	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	1,279,897	5	0	5	0	健康増進課、子ども家庭支援課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,308,618	7	0	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	<p>【心豊かな健康づくりの推進】市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康意識の啓発や地域の実情に合った情報等を提供するとともに、地域住民や町会・自治会、ボランティア等と協働し、健康づくり事業を行う。</p> <p>【保健サービスの充実】子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するため、健康増進事業、予防接種事業を充実させる。また、医療や福祉の関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体制を強化する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動計画に基づき健康マイレージ事業や体力づくり講座等を実施するとともに、八潮市いのちを支える自殺対策計画に基づきゲートキーパー養成講座等を実施した。また、これらの次期計画策定のためのアンケート調査を行った。</p> <p>保健サービスの充実では、がん検診等の健康増進事業、各種の定期予防接種事業を実施するとともに、昨年度に引き続き臨時接種として新型コロナウイルスワクチン接種を医師会等と連携し、医療機関における個別で接種を行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>心豊かな健康づくりの推進では、幅広い世代への意識啓発のため、様々な手段により健康情報を発信するとともに身近なところで気軽に健康づくりに取り組める環境整備が必要である。また、健康づくりを推進するには、市民が主体となって取り組めるよう仲間づくりや仕組みづくりが必要である。</p> <p>保健サービスの充実では、健康増進事業においてはヘルシーチェック健診やがん検診の受診率向上に向けた積極的な取組が必要である。また、新型コロナウイルスワクチン接種について、定期接種として安全かつ円滑に進める必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	健康づくり推進事業では健康マイレージ事業に多くの市民が参加した。また、健康マイレージの後継事業であるALK00マイレージへの移行支援を行った。健康増進事業及び予防接種事業では、健診（検診）や予防接種の必要性を周知しながら積極的に受診勧奨を行うとともに、新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施した。以上のことから概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<p>→ <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他</p>		
施策の展開方針	(説明)		
	<p>心豊かな健康づくりの推進では、健康づくりに関する次期計画に基づき、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、積極的な情報発信と各種健康づくり事業を随時見直ししながら着実に実施する。また、市と協働で健康づくり事業を推進する自主グループ等の担い手を育成する仕組みを検討する。</p> <p>保健サービスの充実では、健康増進事業においては、あらゆる機会を通じ、健康の保持増進や健（検）診の必要性について普及啓発し、各種健（検）診の受診率向上と講座等の事業参加者の増加を図る。予防接種事業においては、新型コロナウイルスワクチン接種を定期接種へ移行し、その他の定期接種と同様に委託医療機関と連携しながら安全かつ円滑に予防接種事業を行う。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	02 01 01	心豊かな健康づくりの推進	健康づくり推進事業
2	02 01 01	心豊かな健康づくりの推進	保健センター管理運営事業
3	02 01 02	保健サービスの充実	健康増進事業
4	02 01 02	保健サービスの充実	予防接種事業
5	02 01 02	保健サービスの充実	新型コロナウイルスワクチン予防接種事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●	子ども家庭部	健康福祉部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所	17か所	17か所	17か所	17か所			
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人	293人	228人	276人	296人			
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%	29.5%	25.7%	28%	27.9%			
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	28,721	2	0	2	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	1,279,897	5	0	5	0	健康増進課、子ども家庭支援課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	1,308,618	7	0	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	評価者名	小林
評価主体が推進する施策の概要	【保健サービスの充実】子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するため、妊娠、出産、育児まで切れ目のない母子保健事業を展開するとともに、健康増進事業や予防接種事業の充実を図る。また、医療や福祉の関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体制の強化を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>保健サービスの充実においては、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう既存の取組みである「伴走型相談支援」を生かしながら、経済的支援を一体的に行う「出産子育て応援事業」を実施した。</p> <p>また、産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう助産師などの専門職により育児指導等を行う「産後ケア事業」を実施した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>保健サービスの充実では、核家族化が進み、地域のつながりも希薄になるなかで孤独感や不安を抱える妊婦・子育て世帯も少なくないため、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境整備を行うとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の更なる充実を図る必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	母子保健事業では、既存の取組みである伴走型支援を生かしながら、経済的支援を一体的に行う「出産・子育て応援事業」を実施した。また、産後の母親の身体的回復と心理的安定を促進し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう助産師などの専門職により育児指導等を行う「産後ケア事業」を実施した。以上のことから概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他			
施策の展開方針	(説明)			
	<p>児童福祉法の改正に伴い、児童福祉分野の「子ども家庭総合支援拠点」と母子保健分野の「子育て世代包括支援センター」について、双方の設立の意義やこれまで果たしてきた機能や意義を維持したうえで組織を見直し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的な相談支援を行う機関である「こども家庭センター」を令和6年4月1日に設置した。</p> <p>今後は、こども家庭センターにおいて児童福祉と母子保健とが連携を図り、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援を実施していく。</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節 施策		
1	02	01 02	保健サービスの充実	母子保健事業
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	2	いのちを守る医療体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、かかりつけ医を持ち、日頃から健康について医療機関に相談し、自分自身の健康管理に努めています。また、救急医療体制が整備され、市民は救急時に適切に医療機関を受診でき、安心して暮らしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標									
		実績									
① かかりつけ医（歯科医を含む）を持つ市民の割合	-	-	-	-	-	50%	-	-	-	-	60%
	-	-	-	44.3%	-	-	-	-	39.2	-	-
②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域医療提供体制の充実	11,904	1	0	1	0	健康増進課
2 地域救急医療体制の整備	18,752	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	30,656	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	いのちを守る医療体制づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	<p>【地域医療提供体制の充実】市民が自ら健康管理を行うため、地域の医療機関との協力体制の充実を図りながら、かかりつけ医（歯科医も含む）の定着を推進する。また、専門的な医療機関（産科等）の誘致活動を推進する。</p> <p>【地域救急医療体制の整備】初期救急医療体制を確立するため、休日診療所の円滑な運営に努める。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し、運営や設備整備のための支援を行うとともに、相談窓口を周知するなど、救急医療体制の充実に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>地域医療提供体制の充実では、地域の医療機関との協力体制を円滑にし、保健衛生、地域医療を促進するため、地域医療団体及び在宅歯科診療整備事業に対し補助金を交付した。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、周知を行うとともに産科開設希望者への相談等の対応を行った。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、市民の救急時医療に対応するため、初期救急医療機関である「八潮市立休日診療所」を新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら開設した。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し運営支援を行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>地域医療提供体制の充実では、日ごろの健康管理や病気の早期発見、早期治療のため、かかりつけ医の必要性について、これまで以上に市民の意識を高める必要がある。また、専門的な医療機関として産婦人科の確保が求められている。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、休日診療所の運営について、新型コロナウイルス感染症に対する経験を踏まえ、感染防止対策を講じながら安全かつ適切に運営する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いのちを守る医療体制づくりでは、地元医師会・歯科医師会などの連携・協力により、地域医療及び救急医療に係る事業等が概ね順調に展開された。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
	<p>(説明)</p> <p>地域医療提供体制の充実では、かかりつけ医を持つ市民の割合を高めるため、かかりつけ医の必要性について、様々な機会を捉えて積極的に周知するとともに、地域医療団体及び在宅歯科診療整備事業に対する補助金交付などにより、地域医療提供体制の充実に図る。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、支援内容の情報発信や産科開設に係る相談対応等を継続するとともに、今後の支援方針の見直しについて検討を行う。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会などを通じて、救急医療提供体制の充実に努めるとともに、様々な機会をとらえ、市民に救急医療に関する相談窓口等の情報を提供し、適切な医療サービスが効率的に受けられる環境整備に努める。また、初期救急を担う公的医療機関として、休日診療所の安定的な運営の確保に努める。</p>		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	02 02 01	地域医療提供体制の充実	地域医療促進事業
2	02 02 02	地域救急医療体制の整備	休日診療所運営事業
3	02 02 02	地域救急医療体制の整備	救急医療対策事業
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	国民健康保険制度や後期高齢者医療制度が安定的に運用され、市民は必要な医療保険サービスを受けることができます。また、国民年金制度に対する理解が進み、市民が制度に基づき年金を受給することができます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標									
		実績									
① 特定健康診査受診率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	0.372	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	0.37	0.383	0.378	0.386	0.348	0.374	0.376	0.382		
② 特定保健指導実施率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	8.60%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	0.079	0.181	0.084	0.132	0.081	0.159	0.108			
③		—	—	—	—						
	—										
④		—	—	—	—						
	—										
⑤		—	—	—	—						
	—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 国民健康保険制度の適切な運用	8,609,101	4	2	2	0	国保年金課
2 後期高齢者医療制度の適切な運用	2,257,652	2	2	0	0	国保年金課
3 国民年金制度の理解促進	5,100	1	1	0	0	国保年金課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	10,871,853	7	5	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	<p>【国民健康保険制度の適切な運用】 県の国民健康保険運営方針を踏まえ、医療費適正化に向けた取組や保険給付の実施、必要な財源の確保等、国民健康保険制度の適切な運用に努める。</p> <p>【後期高齢者医療制度の適切な運用】 埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保健事業の実施や保険料の徴収等、後期高齢者医療制度の適切な運用に努める。</p> <p>【国民年金制度の理解促進】 日本年金機構との連携を図り、広報紙やホームページの活用、年金相談等を通じて、国民年金制度の理解促進に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>国民健康保険制度の適切な運用では、医療費の適正化に努めるとともに税収を含めた自主財源の確保を図った。</p> <p>後期高齢者医療制度の適切な運用では、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保険料の確保等の適切な運用に努めた。</p> <p>国民年金制度の理解促進では、年金制度の周知に努めるとともに、市民から提出された書類の進達などを行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>国民健康保険事業では、特定健診の受診率の向上や特定保健指導の実施等による医療費の適正化を進めるほか、保険料水準の統一に向けた取り組みに努める必要がある。</p> <p>後期高齢者医療制度では、高齢化の進行等により、医療費が増加傾向にある中、その財源となる保険料の収納強化に努める必要がある。</p> <p>国民年金制度では、保険料免除制度の拡充など、様々な制度改正に対し日本年金機構と連携しながら、適切に対応することが求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>国民健康保険事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率において目標値との乖離があったものの、医療費適正化に向けた取り組みを行った。</p> <p>また、後期高齢者医療制度と国民年金制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明)
<p>国民健康保険事業では、第3期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期八潮市特定健康診査等実施計画の最終評価を行うとともに、次期計画を策定し、より一層医療費の適正化に努め、被保険者の健康の保持・増進に努める。</p> <p>また、県の国民健康保険運営方針に基づき、保険料水準の統一に向けた取り組みの推進に努める。</p> <p>後期高齢者医療制度では、制度改正の動向を注視しつつ、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、制度の適切な運用に努める。</p> <p>国民年金制度では、日本年金機構と連携しながら、様々な制度改正に係る周知や、国民年金制度に対する理解の促進を図り、市民の年金受給権の確保に努める。</p>	

重点事業（部で5事業まで）

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業
2	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険税賦課事務
3	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業
4	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業
5	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 市民活力推進部		
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、体を動かすことの楽しさを実感し、体力の維持向上、ストレスからの開放等、心身ともに健康で楽しく毎日を過ごしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
①	スポーツ教室の開催数と参加者数	5教室 98人	—	—	—	—	7教室 140人	—	—	—	—	10教室 200人
		—	6教室 99人	38教室 717人	41教室 843人	27教室 616人	6教室 151人	23教室 1,796人	39教室 906人	61教室 1,165人		
②	スポーツ・レクリエーション指導者数	10人	—	—	—	—	15人	—	—	—	—	20人
		—	11人	11人	2人	1人	1人	1人	1人	1人		
③		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課	
			順調	概ね順調	遅れ		
1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	13,397	2	0	2	0	スポーツ振興課
2	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	1,773	1	0	1	0	スポーツ振興課
3	スポーツ・レクリエーション団体の育成	5,917	1	0	1	0	スポーツ振興課
4	スポーツ・レクリエーション施設の充実	51,187	1	0	1	0	スポーツ振興課
5							
6							
7							
8							
9							
10							
計		72,274	5	0	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	評価者名	田口
評価主体が推進する施策の概要	平成31年3月に策定した「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。 (2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。 (3)「スポーツの場の充実」では、安全で安心して利用できる施設であるとともに、ニーズに合わせた施設となるよう、適切な維持管理と施設の充実に努める。 (4)「スポーツを通じたまちづくり」では、スポーツイベントによる地域活性化、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に取り組む。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	(1) スポーツ教室を感染対策を講じながら61教室を実施した。 (2) スポーツ指導者講習会として「小学生に活用できるスポーツ心理学のポイントー指導者と保護者の役割についてー」をテーマとした講習会などを開催した。 (3) 文化スポーツセンターの利用停止のよる影響緩和を図るため、代替施設の整備に向けて検討を行った。 (4) 公益財団法人サッカー協会が行う、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内小学校5校で実施した。また、市民体育祭に代わるスポーツフェスティバルを開催した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
	(1) スポーツ教室では、市民ニーズを的確に把握するとともに、身体を動かしてみたいくなるきっかけとなるような教室の開催について検討が必要である。 (2) 人材・団体の育成では、学校部活動の地域移行も踏まえ、スポーツ団体の新たな担い手の発掘が急務であり、時代にあった指導力の向上を図る必要がある。 (3) 新スポーツ施設の整備に向けた検討を進める必要がある。 (4) 埼玉県が実施する「埼玉県ジュニアアスリート（彩の国プラチナキッズ）発掘育成事業」への参加者及び認定者を増やすための取組を進める必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	(1)(2) スポーツ教室及びスポーツ指導者講習会では、感染対策を講じながら開催することができた。 (3) 施設運営では、代替施設の整備に向けた方向性などについて検討することができた。 (4) JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内小学校5校で実施することができた。また、市民体育祭に代わるスポーツフェスティバルを開催することができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	(説明) 「八潮市スポーツ推進計画」に基づき、次の各施策に取り組む。 (1)「スポーツへの参加機会の充実」では、子どもから成人、高齢者など、だれもがスポーツを楽しめる機会の充実を図る。 (2)「スポーツ活動を支える人材と団体の育成」では、スポーツ団体等と連携し、スポーツ活動を支える担い手の発掘・育成とスポーツ団体への支援を行う。 (3)「スポーツの場の充実」では、文化スポーツセンターの利用停止に伴う代替施設の整備を進めるとともに、新スポーツ施設の整備に向けた検討を進める。また、多くの施設に老朽化が見受けられことから、優先順位を定め、計画的に修繕を行い、すべての施設が安全で安心して利用できるよう、適切な維持管理に努める。 (4)「スポーツを通じたまちづくり」では、スポーツフェスティバルの更なる充実を図るとともに、スポーツに関する情報発信やトップアスリートとの交流・支援等のほか、子どもの競技力向上等を通じたジュニアアスリートの発掘・育成に努める。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	02 04 01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業
2	02 04 04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業
3	02 04 02	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	スポーツ指導者支援事業
4	02 04 03	スポーツ・レクリエーション団体の育成	スポーツ・レクリエーション団体支援事業
5	02 04 01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ大会事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部	生活安全部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切に、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数		89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
		—	96団体	108団体	111団体	99団体	100団体	96団体	97団体	95団体		
② 就労支援プログラムに基づく就労率		46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
		—	58.9%	56.2%	0.5	0.292	0.036	0.183	0.364	0.36		
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	23,929	2	2	0	0	社会福祉課、市民課
2 地域福祉環境の整備	0	1	0	1	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	71,488	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	3,605,374	6	3	3	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	3,700,791	11	7	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	①相互扶助意識の高揚:八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」といった交流事業を開催し、市民の地域福祉活動の増進及び相互扶助意識の高揚を図る。②地域福祉環境の整備:八潮市地域福祉計画に基づき地域福祉の推進に関する各種事業を実施し、人と地域の絆の再生を図り、互いに支え合う地域づくりを推進する。③地域福祉活動の充実:地域福祉の推進に欠かせない八潮市社会福祉協議会や民生委員・児童委員に対する支援を行い地域福祉活動の推進を図る。④生活の安定のための支援:生活保護制度・生活困窮者自立支援事業の適切な運営を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を実施する予定だったが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止した。②第3期八潮市地域福祉計画に基づき、各種事業を実施した。③八潮市社会福祉協議会と連携しながら、地域福祉に関する各種ボランティア活動への支援を行うとともに、民生委員・児童委員活動が円滑に行えるよう支援を行った。④生活困窮者自立支援相談が262件、住居確保金を5人に支給した。また、保護受給者への就労支援により18人が就労した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	民生委員・児童委員の委嘱者は109人であり、定員である122人に対し13人の欠員が生じており、なり手を確保する方策を検討する必要がある。 社会福祉法の改正により、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の実施が努力義務化された。本市においても制度の導入に向けた準備が必要となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会等への支援を行うとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会との連携・協働のもと八潮市地域福祉計画に基づく各種事業に取り組むことで地域福祉の推進が図られており、施策内の各事業も概ね順調に進んでいる。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
	(説明)																																							
①相互扶助意識の高揚及び③地域福祉活動の充実では、地域福祉の担い手の中心的存在である八潮市社会福祉協議会、八潮市民生委員・児童委員協議会や各種福祉ボランティア団体との連携・支援などを通じ、さらなる充実に努める。また、民生委員・児童委員の欠員について、民生委員・児童委員協議会や推薦者となる町会・自治会と連携し、欠員の解消に努める。 ②地域福祉環境の整備では、八潮市地域福祉計画に位置付けられた、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」等の進捗管理などに努める。 ③重層的支援体制整備事業の実施が求められており、早期の実施にむけ、庁内関係部署との調整や他市の視察等準備を進める。																																								
重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No</th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>地域福祉環境の整備</td> <td>支援体制整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>地域福祉活動の充実</td> <td>民生委員・児童委員協議会補助事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>生活の安定のための支援</td> <td>生活困窮者自立支援事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	05	02	地域福祉環境の整備	支援体制整備事業	2	02	05	03	地域福祉活動の充実	民生委員・児童委員協議会補助事業	3	02	05	04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業	4						5					
No	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	02	05	02	地域福祉環境の整備	支援体制整備事業																																			
2	02	05	03	地域福祉活動の充実	民生委員・児童委員協議会補助事業																																			
3	02	05	04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業																																			
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 生活安全部	健康福祉部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切に、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数		89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
		—	96団体	108団体	111団体	99団体	100団体	96団体	97団体			
② 就労支援プログラムに基づく就労率		46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
		—	58.9%	56.2%	0.5	0.292	0.036	0.183	0.364			
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	23,929	2	2	0	0	社会福祉課、市民課
2 地域福祉環境の整備	0	1	0	1	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	71,488	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	3,605,374	6	3	3	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	3,700,791	11	7	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	生活安全部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり	評価者名	荒浪
評価主体が推進する施策の概要	市民の死亡による葬祭を行った者に対し、葬祭助成金2万円を支給する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	葬祭助成金2万円を支給した。【支給者数764人】 ○支給率：85.6% (支給者数764人/死亡者数893人)		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	葬祭助成事業は、葬祭対象者が高齢者に限らず全市民を対象とする事業であることから、葬祭助成申請手続が煩雑にならないよう工夫することが必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	葬祭助成金を支給することにより、市民の葬祭費負担の軽減を図ることができた。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
施策の展開方針	(説明) 市民の葬祭費負担の軽減を図るため継続する。

重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	02	05	01	相互扶助意識の高揚	葬祭助成事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度R5年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	02	05	01	葬祭助成事業				生活安全部	市民課	15,295	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	02	05	01	社会福祉事業				健康福祉部	社会福祉課	8,634	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	02	05	02	支援体制整備事業	■			健康福祉部	社会福祉課		●	☆☆	見直して継続	増加	増加
	02	05	03	社会福祉協議会補助事業	■			健康福祉部	社会福祉課	60,798	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	02	05	03	民生委員・児童委員協議会補助事業	■			健康福祉部	社会福祉課	10,690	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	増加
	02	05	04	生活困窮者自立支援事業	■			健康福祉部	社会福祉課	47,672	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	02	05	04	セーフティネット支援対策事業				健康福祉部	社会福祉課	26,394	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	02	05	04	生活保護事業	■			健康福祉部	社会福祉課	2,593,058	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	02	05	04	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業				健康福祉部	社会福祉課	244,613	○	☆☆☆	終了・完了	削減	削減
	02	05	04	物価高騰対応重点支援給付金給付事業				健康福祉部	社会福祉課	555,402	○	☆☆☆	終了・完了	削減	削減
	02	05	04	物価高騰対応重点支援給付金給付事業（住民税均等割のみ課税世帯等分）				健康福祉部	社会福祉課	138,236	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										15,295	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病气やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	高齢者が安心して暮らせ、健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で自立した生活を送っています。また、介護が必要な高齢者を市民ぐるみで支え合えるまちとなっています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標							
	実績	実績	実績	実績							
① 一次（一般介護）予防事業参加者率	40.40%	—	—	—	—	41.00%	—	—	—	—	42.00%
	—	42.2%	43.3%	23.6%	0.206	0.071	0.152	0.213	0.188		
② 要介護等認定者出現率（後期高齢者）	24.50%	—	—	—	—	24.50%	—	—	—	—	24.50%
	—	24.0%	23.8%	23.3%	0.235	0.234	0.237	0.242	0.244		
③ 老人クラブ会員数	1,929人	—	—	—	—	2,040人	—	—	—	—	2,140人
	—	1,847人	1,795人	1,749人	1,663人	1,568人	1,483人	1,393人	1248		
④		—	—	—	—		—	—	—	—	
	—										
⑤		—	—	—	—		—	—	—	—	
	—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会参加の促進と生きがいづくり	50,308	1	0	1	0	長寿介護課
2 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	65,697	5	1	4	0	長寿介護課
3 地域支援事業の推進	238,416	1	0	1	0	長寿介護課
4 介護保険サービスの充実	6,409,490	3	2	1	0	長寿介護課
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	6,763,911	10	3	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	①社会参加の促進と生きがいがづくり：高齢者が個々のニーズに即した活動を選択できるような情報提供に努めるとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ連合会等の団体との連携を推進します。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：高齢者が安心して生活を送ることができるよう高齢者在宅支援サービスや住まいの支援を充実します。③地域支援事業の推進：介護予防や日常生活支援サービスを充実するとともに、地域課題の把握や解決に向けた支援を行う地域ケア体制を充実します。また、地域での支えあい体制づくりを推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。④介護保険サービスの充実：介護保険制度に基づく居宅サービス、地域密着型サービス及び施設サービスの充実を図るため、介護基盤整備を推進します。また、サービスの質の維持・向上、介護保険制度の安定的な運営に努めます。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①高齢者の社会参加の促進を図るため、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ等の活動を支援した。②栄養バランスの取れた食事の提供と安否確認を行う「配食・安否確認サービス」を90名、12,896食実施した。③介護予防事業として、介護予防教室（延べ11,447人参加）やフレイルチェック事業（延べ252人参加）等を行った。また、認知症に係る施策として「オレンジカフェ」を市内4か所の地域包括支援センターで計48回開催（延べ1,072人参加）したほか、認知症サポーター養成講座の開催、徘徊高齢者家族支援事業などを行った。④介護サービス給付費、介護予防サービス給付費合わせて対前年度比107%と増加し、介護保険サービスが必要な方への適正な給付に努めた。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中で、要介護状態になっても安心して生活できる介護保険サービスの基盤整備や、住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けた取組が求められている。また、認知症施策や徘徊高齢者家族支援の充実が課題となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	第8期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて事業を実施するとともに、第8期事業計画で定めた新規事業や拡充事業を中心に取組を実施した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	大幅に見直して推進
		重点化(拡充)	縮小
施策の展開方針	(説明)		
	本市における65歳以上の高齢者人口は20,954人（令和5年10月1日）で、高齢化率は22.57%。さらに、要介護認定率の高まる75歳以上の高齢者数は11,930人、割合は12.85%となっており、団塊の世代が75歳になる2025年には、その割合がさらに増えることが予想される。こうした状況を踏まえ、老人クラブや八潮市シルバー人材センターなどの団体への支援による高齢者の社会参加や生きがいがづくりを促進するとともに、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けて、フレイルチェック測定会や介護予防教室の実施、認知症に係る施策の推進、在宅医療・介護連携の推進など、令和5年度に策定した第9期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各種事業を着実に実施する。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	02 06 04	介護保険サービスの充実	介護保険運営事業
2	02 06 03	地域支援事業の推進	地域支援事業
3	02 06 02	高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部	子ども家庭部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標									
		実績									
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所	5か所	—	—
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	9.5%	10.1%	10.4%	10.8%	10.7%	11.1%	11.9%	12.8%	—	—
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6%	45.6%	41.1%	44.5%	47.4%	53.2%	57.2%	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,733,499	6	2	4	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	84,783	3	1	2	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	582,735	2	0	2	0	障がい福祉課、保育課
4 社会参加の促進	3,514	2	0	2	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	18,514	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,423,045	15	3	12	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり	評価者名	遠藤
評価主体が推進する施策の概要	①在宅福祉サービスの充実→障がい福祉サービスや在宅福祉サービスを充実するとともに、関係機関と連携して相談体制の整備を行う。 ②障がい者（児）施設・住環境の整備→障がいのある人の日中活動の場の確保と充実に努め、生活しやすい住環境づくりを促進する。 ③障がい児等の早期療育の充実→乳幼児健診等により、障がいの早期発見に努め、障がいの状況に応じた適切な指導、訓練の実施に努める。 ④社会参加の促進→障がい者の就労支援を行うとともに、障がいのある人が文化やスポーツ活動を通じて障がいのない人との交流を促進する。 ⑤安全、安心のまちづくりの推進→移動手段の確保、建築物や道路、公共交通機関のバリアフリー化を進めるとともに、障がいのある人の権利保護に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①基幹相談支援センターを中心に相談体制の強化を図った。 ②障がい者福祉施設や地域活動支援センターにおいて日中活動の場の提供を行った。 ③障がい児通所サービスを提供するとともに、発達支援巡回事業を実施し、障がいの早期発見・早期療育に努めた。 ④就労支援センター業務を委託により実施し、就職や就労定着の支援を行った。 ⑤障害者差別解消法、手話言語条例、ヘルプカード・ヘルプマークの周知、普及に努めた。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	障がい者の重度化、高齢化や「親亡き後」を見据えた、地域支援の体制（地域生活支援拠点の整備）を構築していく必要がある。緊急時などに必要とされるサービスの円滑な利用につながるよう、関連する部署や関係機関、事業所とも連携し、機能強化、場所の確保等に努めるなど、障がい者を地域全体で支援する体制の整備を進めていくこととする。 障がい者が地域で安心して暮らせるよう、障がい者への差別解消、権利保護等より一層理解を深めるための取組み、環境整備を推進することも課題である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	第7次八潮市障がい者行動計画・第6期八潮市障がい福祉計画に基づき、障がい福祉施策を実施した。また、自立支援協議会の各専門部会等を通じて、市内事業所の情報共有・連携強化に努めるとともに、地域で安心して暮らせるまちづくりの整備に努めた。さらに、障がい者へのアンケート結果などを踏まえ、第8次八潮市障がい者行動計画・第7期八潮市障がい福祉計画を策定した。こうした状況を勘案し、おおむね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・第8次八潮市障がい者行動計画・第7期八潮市障がい福祉計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）に基づき、各種障がい者支援施策を進め、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の強化に努める。 ・障がい者（児）の相談支援事業所を増やすための取組みや事業所の質の向上につながる取組み等、相談・支援体制の充実、強化を図る。 ・障がい者が各種サービスを利用しやすくなるよう手帳取得の支援や相談業務を行う。 ・自ら就労先を見つけることや就労の継続が困難な障がい者に対し、就職相談や職場訪問などの支援を行い、就職や就労の定着に繋げる。 ・障がい者が安全で安心して暮らせる住みやすいまちづくりを推進するため、地域での障がいに対する理解を深めるための事業を実施し、より良い環境づくりに努める。 		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1	02 07 01	在宅福祉サービスの充実	障がい者総合支援事業
2	02 07 02	障がい者（児）施設・住環境の整備	地域活動支援センター事業
3	02 07 03	障がい児等の早期療育の充実	障がい児発達支援事業
4	02 07 04	社会参加の促進	障がい者就労支援事業
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●	子ども家庭部	健康福祉部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標									
		実績									
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所	5か所	5か所	5か所	5か所			
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	9.5%	10.1%	10.4%	10.8%	10.7%	11.1%	11.9%			
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6%	45.6%	41.1%	44.5%	47.4%	53.2%			
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,733,499	6	2	4	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	84,783	3	1	2	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	582,735	2	0	2	0	障がい福祉課、保育課
4 社会参加の促進	3,514	2	0	2	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	18,514	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
10						
計	2,423,045	15	3	12	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり	評価者名	小林
評価主体が推進する施策の概要	心身の発達に障がいや遅れのある児童が日常生活における基本動作等を習得するため、必要な指導や訓練等を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)	心身障がい児の訓練等を実施した。		
	課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある	通所希望者が多く、十分なサービスを継続して提供することが難しくなっている。特に、個別の訓練に対して十分な時間をかけることが難しくなっている。	

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	個別の訓練はきめ細かい対応をしているため、成果があがっている。ただし、通所希望者が多く、将来的には受入れ枠の拡大を検討する必要がある。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
	現状のまま、療育指導を継続して実施していく。ただし、利用者数の状況によっては、職員の増員や専門指導の回数を増やすなど、事業規模の拡大を検討する。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
	章 節 施策		
1			
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：R5年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 子ども家庭部		
	節	8	全ての子どもの幸せづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる環境になっています。児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が図られています。児童虐待防止対策により、保護者の育児不安が軽減され、子どもが安心して生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 保育所等施設の確保提供量 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における保育の量の見込みに基づく）	995人	—	—	—	—	1,183人	—	—	—	—	1,183人
	—	1,057人	1,057人	1,331人	1,614人	1,620人	1,664人	1,740人	1,778人	—	—
② 地域子育て支援拠点の整備数 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく）	6か所	—	—	—	—	7か所	—	—	—	—	7か所
	—	6か所	6か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	7か所	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	R5年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 子育て支援の推進	2,065,014	10	7	3	0	子育て支援課
2 保育施設の整備	2,515,680	6	2	4	0	子育て支援課、保育課
3 保育内容の充実	548,750	2	0	2	0	保育課
4 要保護児童対策の推進	13,392	2	1	1	0	子ども家庭支援課
5 ひとり親家庭等の支援の推進	396,141	1	1	0	0	子育て支援課
6						
7						
8						
9						
10						
計	5,538,977	21	11	10	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子ども家庭部
	節	8	全ての子どもの幸せづくり	評価者名	小林
評価主体が推進する施策の概要	(1) 子育て支援の推進：地域子ども・子育て支援事業を充実する。こども医療費や児童手当、誕生祝金を支給する。 (2) 保育施設の整備：保育・学童保育の需要増に対応するため、認可保育所や学童保育所を整備する。 (3) 保育内容の充実：障がい児保育、延長保育、学童保育所等の多種多様な保育内容を充実し、保護者の子育てにおける負担を軽減する。 (4) 要保護児童対策の推進：相談・支援体制を強化し、市民、関係機関、行政相互の協力体制を整備する。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進：ひとり親家庭等の自立に向け、総合的な支援を充実する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) (1) 子育て支援の推進では、利用者支援など地域子ども・子育て支援事業を行うとともに児童手当等の経済的支援を行った。 (2) 保育施設の整備では、保育需要の増加のため、小規模保育施設1か所を整備した。 (3) 保育内容の充実では、医療的ケア児を受け入れる環境や、放課後児童クラブの体制等について検討した。 (4) 要保護児童対策の推進では、養育支援訪問事業を実施するとともに、要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関と連携し、児童虐待防止対策に取り組んだ。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等への医療費の助成をした。		
	課題はほとんどない	<input checked="" type="radio"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	(1) 子育て支援の推進では、子育て支援事業、経済的支援事業やその手続き方法等について、周知方法等を検討する必要がある。 (2) 保育施設の整備では、少子化の進展に注意しながら整備を検討する必要がある。 (3) 保育内容の充実では、気になる児童や医療的ケア児への対応、放課後児童クラブの開所時間など、運営方針について検討する必要がある。 (4) 要保護児童対策の推進では、こども家庭センターの支援計画作成のためのシステム導入について検討する必要がある。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、確実な財源確保を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとステーションに子育てひろば、利用者支援、ホームスタート、ファミサポ、養育支援の5事業を集約し、地域子ども・子育て支援事業を着実に実施している。 ・保育所需要の増加に対し適切な施設整備等を行っている。 ・要保護児童対策地域協議会における情報共有や適切な支援の実施により、深刻な児童虐待の事案は発生していない。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明) (1) 「第2期八潮市子ども・子育て支援事業計画」の適切な進行管理を行う。また、同計画の計画年度が終了することから、新たに「こども計画」の策定を行う。 (2) 保育所及び放課後児童クラブの待機児童対策について検討しながら保育施設の整備を進める。 (3) 保育所及び放課後児童クラブの全体的な運営方針について検討し、保育内容の充実を図る。 (4) こども家庭センターを設置し、子どもに関する相談を支援につなぐためのマネジメントを行うなど、要保護児童対策を推進する。 (5) 児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成制度等の国県からの補助金など財源を確実に確保し、ひとり親家庭等への支援を推進する。		
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード	施策の内容	事務事業
1	02 08 02	保育施設の整備	保育所整備事業
2			
3			
4			
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

